

授業科目名	成人看護学援助論Ⅱ	担当教員	教授 若崎淳子 他		
開講年次及び学期	3年 前期	必修・選択の別	必修		
開講形態	演習	時間数	60	単位数	2

授業の目的(概要)

慢性期にある成人期の患者を対象に疾患の特性や病態生理、機能障害及び治療を理解し、それに応じた看護の方法を学ぶ。そして、QOLの維持・向上を目指し、慢性期の健康問題をもつ人の特徴を踏まえた長期の療養を支援する看護援助の方法を学習する。

- ・慢性期看護の考え方と慢性期にある人の特徴を理解する。
- ・慢性期にある人の疾患や健康問題を理解し、それに応じた治療・療養・症状緩和に伴う看護の方法を習得する。
- ・慢性期にある人を全人的に理解し、QOLの維持・向上を目指して、倫理的配慮のある根拠に基づく看護援助の方法を学習する。
- ・長期にわたる療養生活を支える患者・家族への支援や社会資源の活用における多職種との連携について考える。

学修成果(到達目標)

- 1.慢性期の概念と看護の特徴を説明できる。
- 2.慢性期にある人とその家族を対象として全人的にとらえ、身体面、精神面、社会面について説明できる。
- 3.慢性期にある人の病態や治療過程を説明できる。
- 4.がんや慢性の機能障害のある患者への看護援助の方法を説明できる。
- 5.慢性期にある人を全人的にとらえ、科学的根拠に基づく必要な看護援助を説明できる。
- 6.慢性期患者の身体的・精神的・社会的側面およびセルフケア能力についてアセスメントできる。
- 7.慢性期にある患者の事例をもとに、根拠に基づく思考や看護過程が展開できる。
- 8.病と共に生活する慢性期にある人が、その人らしく生き、生活できる支援に向けた思考ができる。
- 9.慢性期看護の実践に向けた倫理的課題を理解し、説明できる。
- 10.保健・医療・福祉などの多職種連携や協働の必要性を理解し、医療チームにおける看護師の役割を説明できる。

キーワード

慢性期看護・がん看護・治療継続・意思決定・全人的理解・生活者・QOL・家族支援・多職種連携と協働・EBN・倫理的課題・看護理論

授業の進め方

- ・オンライン授業:Webexによるライブ講義とオンデマンド型配信を併用する。

成績評価の方法(可否基準)

- ・Moodle上に提出する理解確認ペーパー(60%)、課題レポート(40%)により評価します。

教科書・参考書・視聴覚・その他の教材

[教科書]

- 1.鈴木志津枝, 藤田佐和編:慢性期看護論, ヌーヴェルヒロカワ, 最新版.
- 2.小松浩子:がん看護学, 医学書院, 最新版.

[参考書]

- 1.鈴木久美, 野澤明子, 森一恵:成人看護学 慢性期看護, 改訂第2版, 南江堂, 2015
- 2.濱口恵子, 本山清美編:がん化学療法ケアガイド, 中山書店, 2012.

その他:必要に応じて授業の中で紹介する。

オフィスアワー

適宜対応する。

事前にメールによるアポイントメントをお願いします(若崎:awaka@med.shimane-u.ac.jp)。

モデル・コア・カリキュラムとの関連

- A-1 プロフェッショナリズム
 - A-1-1)看護職としての使命、役割と責務
 - A-1-2)看護の基盤となる基本的人権の理解と擁護
 - A-1-3)看護倫理
- A-2 看護学の知識と看護実践
 - A-2-1)学修の在り方
 - A-2-2)看護実践能力
- A-3 根拠に基づいた課題対応能力
 - A-3-1)課題対応能力
- A-4 コミュニケーション能力
 - A-4-1)コミュニケーションと支援における相互の関係性
- A-5 保健・医療・福祉における協働
 - A-5-1)保健・医療・福祉における協働
- A-6 ケアの質と安全の管理
 - A-6-1)ケアの質の保証
 - A-6-2)安全性の管理
- A-7 社会から求められる看護の役割の拡大
 - A-7-2)保健・医療・福祉等の多様な場における看護職の役割
- A-8 科学的探究
 - A-8-1)看護学における研究の必要性・意義
- A-9 生涯にわたって研鑽し続ける姿勢
 - A-9-1)自己研鑽の必要性和方法
- B-1 人々の暮らしを支える地域や文化
- B-2 社会システムと看護
 - B-2-1)健康の概念
 - B-2-2)環境と健康
 - B-2-3)生活・ライフスタイルと健康との関連
 - B-2-5)社会の動向と保健・医療・福祉制度
- B-3 社会における看護職の役割と責任
 - B-3-1)看護職の法的位置付け
 - B-3-2)看護における倫理
- C-1 看護学に基づいた基本的な考え方
 - C-1-1)看護の本質
 - C-1-3)看護の観点から捉える人間
 - C-1-4)看護過程
- C-2 生活者としての人間理解
 - C-2-1)人間にとっての生活
 - C-2-2)個人と生活
 - C-2-3)生活環境としての場
 - C-2-4)地域社会における生活者
- C-3 生物学的に共通する身体的・精神的な側面の人間理解
 - C-3-2)生命維持と生体機能の調節
 - C-3-3)生命誕生、成長・発達と加齢、ヒトの死
- C-4 疾病と回復過程の理解
 - C-4-1)病態の成り立ちと回復過程
 - C-4-2)基本的病因と病態
- C-5 健康障害や治療に伴う人間の身体的・精神的反応の理解
 - C-5-1)病(やまい)に対する人間の反応
 - C-5-2)疾病の診断に用いる検査と治療
 - C-5-3)主な健康障害と人間の反応
 - C-5-4)薬物や放射線による人間の反応
- D-1 看護過程展開の基本
 - D-1-2)多面的なアセスメントと対象者の経験や望み(意向)に沿ったニーズ把握
 - D-1-3)計画立案
- D-2 基本的な看護技術
 - D-2-3)日常生活の援助技術
 - D-2-4)診断・治療に伴う援助技術
- D-3 発達段階に特徴づけられる看護実践
 - D-3-3)成人期にある人々に対する看護実践
- D-4 健康の段階に応じた看護実践
 - D-4-1)予防が必要な人々に対する看護実践
 - D-4-2)急性期にある人々に対する看護実践
 - D-4-4)慢性期にある人々に対する看護実践
 - D-4-5)人生の最終段階にある人々に対する看護実践
- D-5 心のケアが必要な人々への看護実践
- D-6 組織における看護の役割
 - D-6-1)組織における看護活動
 - D-6-2)リスクマネジメント
 - D-6-3)保健・医療・福祉チームにおける連携と協働
- E-1 多様な場の特性に応じた看護
 - E-1-1)多様な場の特性
 - E-1-2)多様な場に応じた看護実践
- G-2 看護学研究を通じた看護実践の探究
 - G-2-1)看護実践の探究
 - G-2-2)研究成果の活用の方法

授業計画

回	日程	時間	場所	実施方式	配信方法	テーマ	授業内容	担当者
1	4月6日(火)	8:30～ 10:10	N21	オンライン	オンデマンド	慢性期看護総論	ガイダンス/慢性期看護とは	若 崎
2		10:25～ 12:05				がんを取り巻く現状	がんを取り巻く現状とがん医療・がん看護	若 崎
3	4月13日(火)	8:30～ 10:10	〃	オンライン	〃	がん患者とcureとcare	がん患者とcureとcare:がんの臨床経過・緩和ケア	若 崎
4		10:25～ 12:05				治療過程に在るがん患者の看護	治療過程に在るがん患者の看護:薬物治療	若 崎
5	4月20日(火)	8:30～ 10:10	〃	オンライン	〃	治療過程に在るがん患者の看護	治療過程に在るがん患者の看護:薬物治療	若 崎
6		10:25～ 12:05				治療過程に在るがん患者の看護	治療過程に在るがん患者の看護:薬物治療	若 崎
7	4月27日(火)	8:30～ 10:10	〃	オンライン	〃	治療過程に在るがん患者の看護	治療過程に在るがん患者の看護:薬物治療	若 崎
8		10:25～ 12:05				治療過程に在るがん患者の看護	治療過程に在るがん患者の看護:薬物治療	若 崎
9	5月11日(火)	8:30～ 10:10	〃	オンライン	ライブ (Webex)	治療過程に在るがん患者の看護展開	演習:看護過程の展開方法(含:手術療法)	若 崎
10		10:25～ 12:05				がん看護専門外来における看護	かん看護専門外来における看護実践: がん患者とのコミュニケーション	乳がん看護認定 看護師・若崎
11	5月18日(火)	8:30～ 10:10	〃	オンライン	〃	外来がん薬物療法看護	外来がん薬物治療中の患者への看護実践	化学療法看護 認定看護師・若崎
12		10:25～ 12:05				がん患者と就労支援	がん薬物療法と就労支援	化学療法看護 認定看護師・若崎
13	5月25日(火)	8:30～ 10:10	〃	オンライン	オンデマンド	治療過程に在るがん患者の看護展開	演習:看護過程の展開 (課題学習)	若 崎
14		10:25～ 12:05				治療過程に在るがん患者の看護展開	演習:看護過程の展開 (課題学習)	若 崎

備考
※非常勤講師の都合により、時間変更あり。

授業計画

[illegible]